

>>>

市会レポート2010年 Vol.10

<<<



高齢者の孤立化を防ごう

緑区
横浜市会議員

高橋まさはる

公明党横浜市会議員団 政務調査会長
1959年岡山県倉敷市玉島生まれ
02年 東芝ソシオシステムズ（株）退社
03年 横浜市会議員に初当選／現在2期目
◎事務所／緑区中山町320-5 ☎045-929-5305



「万一の時でも安心！」

横浜市会公明党・高橋まさはるなどの強力な推進により、2008年度に始まった「地域の見守りネットワーク構築支援事業」は、町内会やボランティアなどが行う見守り巡回や買い物支援などに対し、必要な経費を助成するものです。

2010年度は7地区で、お年寄りの引きこもり防止のため、空き店舗を高齢者サロンに改装し交流の場を設置したり、寝たきりやひとり暮らしの高齢者などを対象に、緊急事態に近隣の方などへすぐに連絡が取れる「あんしん電話設置事業」を実施。また、高齢者住宅の一部でセンサーの設置などによる見守りを推進するなど、地域の実態に応じて工夫を凝らしながら取り組み、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯に安心が広がってきました。

都市部を中心に「無縁社会」ともいわれる現在、368万人が暮らす横浜市では高齢者のみの世帯が32万世帯を超え、高齢化率は19%

地域見守り支援事業を更に推進

に達しています。団塊世代が高齢期を迎える平成26年には市民の4人に1人が高齢者という時代を迎え、その孤立化をどう防ぐか、さらなる対策が迫られています。

市会公明党は2007年3月に発表した「横浜21ビジョン」で、高齢社会における人と街のあり方などについて提言し、「高齢者の見守りを充実させるべきだ」と、議会で繰り返し迫ってきました。

今月の横浜市会第4回定例会において、林文子市長に「地域で支えていくためには支援が必要な高齢者について『どこに誰が住み、どのような支援が必要なのか』について支える側が共通の理解に立つ必要があるのではないか」と、行政は地域の取り組みを条例の制定などで具体化していくなければならない」と提言しました。

今後も高齢者が安心して暮らせる横浜を市会公明党・高橋まさはるがリードしてまいります。

★公式サイト www.masaharu.info ★お問い合わせ office@masaharu.info